

平成27年度 指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成27年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西作業所
	所在地	兵庫県川西市小戸3丁目12番10号
	設置目的	心身障がい者の福祉の向上のため、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、18歳以上の身体障がい者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うことを業務とする。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)18歳以上の身体障がい者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うこと。</p> <p>(2)施設の利用の承諾、その取り消し、その他福祉センターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び免除に関すること。</p> <p>(4)施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。</p> <p>(6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		B		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		C		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	D	サービス管理責任者が直接サービス提供職員の業務に協力する必要がある場面が多くあったため、平成28年2月2日の監査で運営基準違反(サービス管理責任者未配置、計画未整備減算請求未実施)により不正請求の法令違反を疑われる状況となりました。	D	平成28年2月2日に実施された、県市合同監査において、個別支援計画が作成されていない例や少なくとも6か月に1度行う必要のあるモニタリングが行われていない例が多数確認されたほか、専従で配置すべきサービス管理責任者が直接支援業務に従事している状況が確認された。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	施設利用開始時に「施設利用契約書」(施設説明)の締結、「重要事項説明書」「個人情報使用同意書」を説明し同意(署名・捺印)をいただいています。	C	契約時の説明は行われているものの、個別支援計画の作成やモニタリングが行われていない利用者に対しては、支援方針等の説明や同意を得る手続きは行われていなかった。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	毎年行われる「障害者1日サロン」に参加し広報活動を行いました。また、川西市社会福祉協議会ホームページへの掲載により事業の周知に努めました。	B	地域の利用者や家族等への情報提供をより充実させるとともに、市民への広報活動を通じ、施設や障がい者への理解が深まるよう取り組む必要がある。	意見なし			
< 課題 >	サービス管理責任者の専従、適正な手順での個別支援計画の作成等の体制の確立が必要です。また、利用者の重度化、高齢化により状況に応じた作業の変更等の対策は講じていますが、利用者の多くが関わりを持てる作業導入が必要です。		全職員が法令基準等を正しく理解し、適切に運営できる体制を確立する必要があります。		意見なし			
< 改善内容 >	サービス管理責任者を専従させ、適正な手順で個別支援計画を作成しています。体力を必要とする機械作業等を減らし、身体の負担が少ない封入、封緘作業を川西市から請け負いました。継続して作業内容の見直しが必要と考えます。				意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		B		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	平成27年度事業日数は240日、延べ利用者数は6,536人(前年6,739人)で、利用率は77.8%(予算は75.5%)でした。平成27年4月より、土曜日通所を廃止したため延べ利用者数減(203人)となりました。出席率は74.5%(前年74.4%)となりました。生活のリズムの維持や社会参加の場としての役割を果たせました。	D	ケアマネジメントに基づく支援が適切に行われていなかった。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	不定期利用の方に対し、利用曜日の変更に柔軟に対応し1日でも出席日数増になるよう努めました。感染性胃腸炎やインフルエンザが流行せぬよう常に注意を喚起しています。	A	前年に引き続き、出席率の向上が図られている。	意見なし			
< 課題 >	長期欠席となっている2名の利用者の通所再開を勧める必要があります。		長期欠席者については、欠席となった要因により、他のサービスへの変更を検討すべき場合もあるので、相談支援事業所との情報交換を密に図られたい。		意見なし			
< 改善内容 >	家庭訪問や電話連絡、障がい児(者)地域生活・就業支援センターとの連携等で利用者の近況を確認し、通所が再開できるよう努めます。				意見なし			
(1-3) 利用者の満足度	A		B		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	毎年1月にアンケートを実施しております。	A	アンケートを実施している。	意見なし			
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートの結果、施設利用の目的は「生活リズム、体力の維持向上のため」「日中活動の場として」「多くの工資を得たい」「就職を希望する第一歩として」などでした。個別面談を実施し「個別支援計画書」に本人の要望や利用目的を反映させるようにしております。	A	アンケートによりサービスの改善に努めている。	意見なし			
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	利用者同士のトラブルは、職員を交えよく話をしてお互い納得して同意となりました。	A	適切に行われている。	意見なし			
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	苦情受付窓口の設置や施設内に意見箱を常設しております。また、通常のアンケート以外にも「食事」に関するアンケートも実施し希望の多かったメニューを提供しました。	C	意見箱等による意見聴取を行っているものの、個別支援計画の作成やモニタリングが適切に行われておらず、ケアマネジメントによる支援内容の検証や評価は十分行われていない。	意見なし			
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	面談時やアンケートの結果から、現在の作業についての意見を伺い、利用者の身体状況、意向に沿った作業を提供いたしました。その結果、利用者の心身への負担軽減の効果が、得られています。	B	アンケートによる改善の取組みは見られるものの、法令基準に基づく支援内容の検証や評価は十分行われていない。	意見なし			
< 課題 >	利用者の潜在的ニーズの掘り起こしが必要です。		利用者や家族の潜在的ニーズを把握するためには、ケアマネジメントを適切に実施する必要があります。		意見なし			
< 改善内容 >	利用者の面談を通じてニーズの把握に努めます。				意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	照明やエアコンは、小まめに切るように職員だけではなく利用者にも協力を得て取り組んでいます。修繕費は前年より少なく済みました。土曜日開所の廃止により経費削減となりました。		A	ニーズに合わせた開所日の見直しにより、経費の節減を図っている。		意見なし	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業者委託での契約に際し、相見積を取り安価な業者で実施いたしました		A	適切に行われている。		意見なし	
< 課題 >			建物及び設備の老朽化に起因する修繕費・水道光熱費などの経費の増加が生じます。この老朽化対策コストは、今後更に膨らむと思われれます。			施設の経年化に伴い、修繕箇所が増加が見込まれることから、日常の管理運営の中で修繕の必要な箇所を的確に把握し、計画的な修繕を行う必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >			大きな予算が伴う修繕になる前に日頃から点検やメンテナンスを継続的にを行います。			ニーズに合わせた開所日の見直しを行った。	意見なし	
(2-2) 収入の増加	A			A			(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	A	利用者に対し、長期欠席にならないよう体調不良時は早めに受診を促しました。また、長期欠席者に対しご自宅を訪問し様子を伺いました。不定期利用の利用者に対しては、利用日を柔軟に対応し、1日でも出席日数が増やせるようにしました。利用者の高齢化に伴い、身体に負担の少ない「封入・封緘」(川西市より)作業に積極的に取り組みました。		A	報酬上の加算を算定できる取組みを行っている。		意見なし	
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	A	平成27年度工賃実績の向上により、平成28年は「目標工賃達成加算」を得られることになりました。		B	加算を算定できる取組みを行ったものの、報酬改定等により減収となっている。		意見なし	
< 課題 >			定員35名に対し契約者36名(平成28年3月31日現在)で契約数は定員を上回った形ですが、高齢化などによる出席日数の低下により、出席率は74.5%(平成27年度実績)にとどまっている状況です。			引き続き、出席率の向上につながるよう、きめ細やかな支援を行う必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >			現在の利用状況を考えると、契約者数を2~3名増やす必要があると考えます。				意見なし	
(2-3) 収支のバランスなど	A			A			(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。	A	平成27年度予算では、障がい福祉サービス等事業収入において、利用率75.5%で計算していましたが、結果は74.5%でした。支出総額を64,927千円で見込んでいましたが、2,762千円少ない、62,165千円に抑えることが出来ました。		B	報酬改定等により前年度より悪化している。		意見なし	
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	受託金収入(指定管理料)も予算額13,416千円の予定が、1,273千円少ない、12,143千円に抑えることが出来ました。		A	ニーズに合わせた開所日の見直しを行っている。		意見なし	
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容を十分に確認し 適切に執行いたしました。		A	適切に行われている。		意見なし	
< 課題 >			利用者の出席率を向上させる必要があります。			引き続き、出席率の向上につながるよう、きめ細やかな支援を行う必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >			利用者の出席率の低下に繋がる、インフルエンザ等の感染症が流行しないように手洗いやうがい等の予防策を実行します。			ニーズに合わせた開所日の見直しを行った。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	B		B		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	B		B		(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	D	平成27年4月に臨時職員の増員があり、利用者への支援がより良く行われるようになりました。平成28年2月2日監査以降は適切な人員配置を行っています。	D	平成28年2月2日に実施された、県市合同監査において、専従で配置すべきサービス管理責任者が直接支援業務に従事している状況が確認された。	意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	現任、サービス管理責任者は「兵庫県サービス管理責任者ブラッシュアップ研修」を受講し、新たに1名サービス管理責任者研修を受講いたしました。	B	法令改正も頻回にあることから、研修・教育は常に必要であり、外部研修の内容を職員間で共有するなどの取り組みが求められる。	意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	消防署の移転により火災通報装置(消防直通)を新たに設置し、安全な作業場の環境を整えました。	C	継続的に経費節減に取り組んでいるものの、ケアマネジメントに基づくサービス提供は行われていなかった。	意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	重量物を扱う作業内容の見直し検討をはじめました。	A	利用者にあわせて、作業内容の見直しを行っている。	意見なし	
< 課 題 >		職員が多くの部分に関わらなければならない様な作業や機械の調整が難しい作業、重量物を扱う作業等の見直し検討をはじめました。		引き続き、利用者の重度化や高齢化に対応した受注作業の見直しが必要である。	意見なし	
< 改善内容 >		サービス管理責任者を専従とした職員配置にしました。		サービス管理責任者を本来の業務に従事できるよう改善した。	意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	D	チェック体制は口頭のみで機能していませんでした。	D	法令遵守に対する意識が低く、組織的なチェック体制も確立していない。	意見なし	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人ファイルは事務所及び作業室の鍵付きロッカーに保管しております。不要になった個人情報はシュレッダー処理しております。	A	適切に行われている。	意見なし	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	作業場の整理整頓、荷物置き場をカラーテープで区切る、機械の角にウレタンスポンジで保護する等の安全対策は、施設運営の基本要素であり、作業毎に対策を取っております。	A	適切に行われている。	意見なし	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	年4回の消火・通報・避難訓練を実施しております。夜間は警備会社に警備を委託しております。	A	適切に行われている。	意見なし	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	平成27年度は、利用者の方が激しい腹痛、吐き気の訴えがあり、救急搬送し入院となる事態が起きました。その時には、職員が瞬時に役割分担を行い、適切に連絡、対応できており、報告書も作成し提出しています。	A	適切に行われている。	意見なし	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。					意見なし	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	利用定員に空きがあるため、希望者は利用できる状況です。	A	適切に行われている。	意見なし	
< 課 題 >		サービス管理責任者が専従し、個別支援計画を作成する。		全職員が法令基準等を正しく理解し、適切に運営できる体制を確立する必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >		サービス管理責任者を専従させ、「個別支援計画作成マニュアル」に従い計画を作成し、「個別支援計画作成状況確認表」で確認するなどチェック体制の確立を行いました。		監査実施以降、運営基準に反する状況は改善されている。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
総合評価			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価ランク	A			B				
・評価できる内容	<p>体力を必要とする機械加工作業を減らし、川西市からの各種郵便物の封入・封緘作業を増やし、利用者や職員の体力的負担を軽減することが出来ました。 通所することにより、日常生活能力や、社会適応能力を維持向上し、3月現在ハローワークに登録して就職活動をされている方が1人おられます。</p>		<p>利用者の重度化や高齢化にあわせた受注作業の見直しを行っている。</p>		意見なし			
・平成27年度に改善した内容	<p>平成28年2月の監査以降各々の職務を周知しサービス管理責任者を専従させました。 作業面では、金属加工の重量物を扱う作業を減らし、市役所の配布物を封筒に入れる封入・封緘作業に替えました。</p>		<p>監査実施以降、運営基準に反する状況は改善され、ケアマネジメントに基づく支援が行われている。</p>					
・平成27年度に改善したことによる効果	<p>作業場や利用者の方にトラブル等があれば、すぐにサービス管理責任者に相談対応できるようになりました。 作業面では、重量物の運搬が減り、職員の負担を軽減できました。</p>		<p>ケアマネジメントによる評価と見直しが適切に実施されることにより、提供したサービスの検証と評価が行われ、個々の利用者に合ったサービスが提供されるようになることが期待される。</p>					
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>平成28年2月の監査で運営基準違反により不正請求などの法令違反を疑われる状況となった点について、サービス管理責任者が作成マニュアルに従って計画を作成し、作成状況を管理者が確認をすると共に、法令遵守の為に研修に参加することです。</p>		<p>監査において指摘された事項には、組織的な対応が必要なものが少なくないため、県に提出された改善報告書に即して、速やかに実施されたい。</p>		意見なし			
・改善方法とその時期	<p>平成28年4月以降、個別支援計画作成状況の書面でのチェック体制を整備し、法令遵守を図っています。 また、第三者評価・法令遵守研修・法人内部監査については28年度中に実施するように進めます。</p>		<p>事案の重大性に鑑み、早急に対応することが望まれる。</p>					

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。